

## ① 町民参加のまちづくりについて

第9次総合計画の基本的な“まちづくりテーマ”は、「住みたい、住み続けたい、住んで良かったと言われるような幸福度日本一のまち」とされている。

住みたい、住み続けたい、住んで良かった！！と思える町づくりは、住民誰もが望むところであるが、行政の一方的な運営・施策だけでなく「町民参加によるまちづくり」が実現してこそ初めて実感できるものであると考える。

町民参加の町づくりは現在も進められているが、少子高齢化が進展する中で主体となる住民の生活環境が変化しつつあるように思われる。

地域のつながりの核であり、町民参加の母体である「自治会の加入率の低下」や、「独居老人・高齢世帯の増加」、「子供会や老人会加入者の減少」など、住民参加のまちづくりへ向けての課題が山積している。

そこで、以下の点について質問する。

## (1) 自治会活動の充実・強化について

自治会加入率の低下は全国的な傾向であるが、長与町における加入率の状況はどのようになっているか。また、加入率の低下防止に向けては、対策を立てて検討されていると思われるが、どのような対応を行っているか。

## (2) 地域コミュニティの効果的な活動推進について

地域の町づくりの一翼を担う町のコミュニティ活動は、スタートして15年が経過しているが、現状の活動の中でコミュニティの役割は果たされていると考えているか。

## (3) 町民参加による協働の町づくりに必要な情報の共有化について

住民が町の情報を十分に承知し状況を理解してこそ住民参加の協働も効果を生むものと考えられるが、必要な情報をどのように提供し共有化されているか。